



新春を迎えて 会長 織田 善夫

新年 明けましておめでとうございます。
今年の年末年始は、長期休暇でビッグ登山を楽しんだ岳人も多かったことでしょう。一方で里山から市街地にかけてまで「熊」の被害、犠牲者が多く、山は怖いとの思いも広がったかと思えます。冬季閉山中の富士山では、遭難事故が相次ぎ犠牲者も発生しています。

昨年は、浜田副会長の訃報、沖さんの朗報もある中で、毎月の例会、月例山行に奥美濃での親睦山行、会場を替えてのザイル祭と、会員皆さんの参加の下、確かな会の運営ができたと思います。 本年も、安全第一に、みんなで山行を楽しみたいと思います。



本宮山 789m 12月15日(月)

織田、伴野、市橋、柴橋、水谷、中村

▲7:15 名城公園集合。伊勢湾岸道にて事故渋滞に遭遇。9:20 に登山口駐車場にて織田さんと合流。一丁目の鳥居から表参道コースへ。砥鹿神社奥宮の五十丁目まで小刻みに道標が整備されている。照葉樹、落葉広葉樹、杉等で囲まれた参道を進む。10:05 二十一丁目の林道出合を通過。傾斜がきつくなりだし、領家変成岩が露出する岩場も現れ出す。途中、展望台の東屋をはじめ数か所で休憩。11:00 四十丁目の林道出合を通過。お清水舎で喉を潤し階段道に取り付く。



11:40 砥鹿神社奥宮に到着。赤鳥居のスポットより遠目に富士山を拝む。11:55 本宮山山頂に到着。強風のため風除け地にて昼食。伴野さん持参のコーヒーに癒される。電波施設が林立し、眼下には豊橋平野、三河湾、遠州灘等も眺められた。12:20 下山を開始。14:40 登山口駐車場に到着。天候にも恵まれ、5 時間程の冬の山行を楽しんだ。 ————— 中村

富士山の遭難

▲閉山中の年末の富士山で遭難が相次いだ。



①12月29日 富士宮口新7合目、山岳会の仲間2人で下山中の44

歳男性が、滑落したのを救助隊が発見、5合目まで下ろしたが、心肺停止で死亡。

②31日7時頃、35歳の男性が御殿場口6合目で、突風にあおられ滑落、自ら110番通報し、山岳遭難救助隊に救助された。200m程滑落し、携帯のGPSを頼りに救助、介添えをしながら5合目まで下ろした。

既報!!

秩父宮記念山岳賞
沖 允人氏



▲ 去る12月6日、日本山岳会の20周年記念式典が新宿の京王プラザHで500人の参加者の中で開かれ、席上、山岳賞の受章が執り行われた。

式典には天皇陛下が一般会員

としてご臨席され、後の晩さん会では、同卓に陛下と日本山岳会橋本会長、英国大使夫妻に受賞者の重廣氏と当会の沖氏が同席、会食された。「インド・ヒマラヤの研究と書籍の編集・出版」が受賞理由



忘年会

12月15日(月) 月例山行の本宮山下山後、西区の宝楽飯店で、沖さんの受賞話を聴きながら楽しんだ。中村、伴野、柴橋、水谷、市橋、織田、酒井、沖